

(件名) スポーツ・コンベンションセンター(新総合体育館)に関する陳情書

(陳情の趣旨)

鹿児島県総合体育センター体育館(県体育館)は、施設の老朽化が進んでおり競技場も狭隘であることから、競技会をはじめ利用者の需要に十分に答えることが出来ないため、県屋内スポーツ競技団体として長年にわたり県当局・県議会・県民の方々にこれまで早期建設を求めてきました。

これまで県当局から新総合体育館建設について幾度となく建設案が示されるも紆余曲折し今日に至っていることは、私ども屋内スポーツ競技団体として誠に残念な思いであります。

塩田知事になり、新総合体育館の建設については、新たな有識者による検討委員会が設置され審議の結果、今年3月にスポーツコンベンションセンターの基本構想が策定され、ドルフィンポート跡地に整備することが決まりました。

現在、ドルフィンポート跡地にスポーツ・コンベンションセンターを建設することについては、県民の中には様々な意見があり、9月の県議会では県の計画に反対する陳情が6件ありましたが、県議会としては、現行計画を容認するとの結論に至り、私ども県屋内スポーツ競技団体としては、長年の懸案が前進したと大変有り難く思っております。

しかしながら、ドルフィンポート跡地にスポーツ・コンベンションセンターを建設することについては、今でも反対する団体等もあり、このようなことが、今後、県民世論にどのような影響を与えるのかと大変危惧いたしております。更に、鹿児島市のサッカースタジアム構想が提案され、県屋内スポーツ競技団体としては、このことがどのように推移するのか案じております。

私ども県屋内スポーツ競技団体としては、県当局から示されたドルフィンポート跡地にスポーツ・コンベンションセンターを建設する基本構想について賛同いたします。

その理由としては、交通・宿泊・駐車場等の利便性、特に、本県の場合、離島からの児童・生徒たちの参加も多く、交通の利便性や経済的負担を考えた場合、最適地と考えます。また、九州・全国・国際大会等の開催時においても、来県される皆さんの交通・宿泊等の利便性を考えた場合も同様であり、周辺地域への経済効果も期待できます。

特に、ドルフィンポート跡地は、雄大な桜島・錦江湾を望める眺望は、児童・生徒たちに対しふるさと愛を育む教育上の成果が期待できるとともに、県外から参加された方々に対しても鹿児島の魅力を発信できる絶好の場所と考えます。

私ども県屋内スポーツ競技団体としては、現在でも競技力の向上や生涯スポーツ等、スポーツの振興に力強く寄与したいと考えております。

ドルフィンポート跡地にスポーツ・コンベンションセンターが整備されれば、更に、未来を背負う青少年や県民の方々にこれまで体験させることのできなかった日本や世界のトップアスリートの演技や競技を身近に観戦していただき、素晴らしい夢や感動を届けることが出来ると思っております。また、県民の方々の生涯スポーツ・健康づくりの拠点となる施設になると確信いたしております。

そのためには、現在、県当局が進めている基本構想に基づき一刻も早く建設に着手されることを県屋内スポーツ競技団体として強く要望いたします。

上記の趣旨に基づき、下記事項を陳情します。

記

- ドルフィンポート跡地にスポーツ・コンベンションセンターが、県当局の基本構想に基づき早期に建設されることを陳情します。